

10. インフラストラクチャー研究所

1. 主な活動の記録

- (1) 社会資本の国民生活に果たす役割と必要性、その整備における建設コンサルタントの役割についての理解増進

社会資本の動向及び建設コンサルタンツ協会に関連する情報を官公庁・業界新聞社等のホームページより抽出し、最新情報のリンク集として、協会会員に「インフラ研通信」としてメール配信した。

- (2) 望ましい建設生産システムのあり方についての検討

契約のあり方専門委員会の事務局として、建設コンサルタントの業務内容と契約形式の差異解消や成果品の著作権に関する検討に参加した。

さらに、令和5年の9月と12月に契約のあり方専門委員会の委員会活動成果の説明と顧問弁護士による講習を行う、「契約のあり方講習会」開催の企画作成等に参加した。

- (3) 建設コンサルタント技術者及び業界の資質の向上

国土交通省と連携して運営する「道路橋技術相談窓口」の事務局対応を継続的に行った。

戦後インフラ整備事業を振り返り、建設コンサルタントの意識向上を図る目的で設立された戦後インフラ整備事業研究会に幹事・事務局として、平成30年度から継続して企画・運営に参加した。また、「インフラ整備70年～戦後の代表的な100プロジェクト～」講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止として令和6年2月まではオンライン形式、3月より会場参加再開のハイブリット形式にて開催（令和5年度は第39回～第49回）するとともに、講演記録集（6講演分を収録）の編集・発行（vol.6）を行った。

- (4) 社会・経済システムの変革に伴うニュービジネスの開発

令和2年5月より国土交通省のグリーンインフラ官民連携プラットフォーム運営委員会及び

技術部会、グリーンインフラ産業展の実行に参画した。参画に際し、協会からのグリーンインフラに関する情報収集や意見・意向把握を行い、それら結果を運営委員会等への提示・提案等、橋渡し役を担った。

- (5) 自主研究

石田 東生 筑波大学名誉教授の助言のもと、建設コンサルタントが携わる可能性のある新たな業務（DX推進等）の発掘に向けた調査・研究を行った（一部、関連WGへの参画のもと実施）。成果については報告書に取りまとめ、協会員をはじめ広く一般にも向けて協会ホームページにて公開した。

また、各研究員が主とする技術分野の専門委員会にも参画し、自己研鑽に努めた。

2. 次年度の活動について

インフラストラクチャー研究所のミッション（使命・任務）を継続的に実施し、建設コンサルタント業界等にその成果を広報・啓発していく予定である。

（インフラストラクチャー研究所 今井 稔）